

クリストフ・プレガルディエン &  
ミヒャエル・ゲース  
シュューベルト、別れと旅の歌曲集



クリストフ・プレガルディエン(テノール)

ミヒャエル・ゲース(ピアノ)

©Hermann und Clärchen Baus

2024.5.26日 15:00開演  
(14:15開場)

青山音楽記念館 バロックザール

入場料(全指定席・税込)

一般 5,000円 • 当日券が販売される場合に限り、学生証の提示により1,500円で販売。

チケット発売日

2024年1月18日(木)12:00より

チケット購入方法

バロックザール・オンラインチケットにて販売  
※オンライン購入には会員登録が必要です。



※チケット発売初日はバロックザール・オンラインチケットのみ取り扱い。※翌日以降に残席がある場合は窓口販売あり。  
※本公演はお電話での取り扱いがございませんので予めご了承ください。

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。※バロックザールのWEBサイトをご確認の上、感染症予防対策にご協力ください。

お問い合わせ

青山音楽記念館 バロックザール Tel. 075-393-0011 [受付] 9:30~18:00 <月・火 休館>

主催 / 公益財団法人青山音楽財団

# Program

## シューベルト:別れと旅の歌曲集 Schubert:Lieder von Abschied und Reise

1. 歓迎と別れ/Willkommen und Abschied, D767
2. 星/Die Sterne, D939
3. 夜の曲/Nachtstück, D672
4. 吊いの鐘/Das Zügelglocklein, D871
5. さすらい人/Der Wanderer, D489
6. さすらい人の夜の歌 I /Wanderers Nachtlied, D224
7. ヴィルデマンの丘を越えて/Über Wildemann, D884
8. 精霊の踊り/Der Geistertanz, D116
9. 魔王/Erlkönig, D328
10. さすらい人の夜の歌 II /Wanderers Nachtlied, D768
11. あこがれ/Sehnsucht, D879
12. ミューズの息子/Der Musensohn, D764
13. ブルックの丘/Auf der Bruck, D853
14. 夕映えのなかで/Im Abendrot, D799
15. 休まない愛/Rastlose Liebe, D138
16. とらわれの狩人の歌/Lied des gefangenen Jägers, D843
17. 堅琴弾きの歌より〈われ戸口にしのび行かん〉/An die Türen will ich schleichen, D480
18. さすらい人/Der Wanderer, D649
19. さすらい人の月に寄せる歌/Der Wanderer an den Mond, D870
20. 孤独な人/Der Einsame, D800
21. 舟乗り/Der Schiffer, D536
22. 御者クロノスに/An Schwager Kronos, D369
23. 白鳥の歌より〈影法師〉/Der Doppelgänger, D957 Nr.13
24. 夜と夢/Nacht und Träume, D827

### グレートソリスト 〈Great Soloist〉シリーズ

世界を舞台に活躍するアーティストを迎え、演奏家自身が「今」届けたいと願うプログラムで贈る主催公演シリーズ。年間を通して4~5本を多彩なラインナップで展開します。200席という演奏家の息遣いまで聞こえる空間で、特別なひと時をお楽しみください。

## Profile

### クリストフ・プレガルディエン(テノール)

Christoph Prégardien, Tenor

1956年ドイツ・リンブルグ生まれ。リンブルグ大聖堂の聖歌隊で初めての音楽教育を受ける。フランクフルト音楽大学で学んだのち、ミラノ、シュトゥットガルトで研鑽を積む。在学中にドイツ放送音楽コンクールに優勝。以来、優れたリリック・テノールとして、オペラ、オラトリオ、リートの各分野で高く評価されている。レパートリーは、バロック、古典派、ロマン派のオラトリオや受難曲から、オペラ、ブリテン、キルマイヤー、リーム、ストラヴィンスキーなどの現代曲まで幅広く、レオンハルト、ブリュッヘン、コープマン、シグスヴァルト・クイケンといった古楽器演奏の名指揮者たちとの優れた共演はもちろんのこと、リート歌手としても円熟味を増した名演が多い。とくに、ゲース、また、フォルテピアノのアンドレアス・シュタイアーとのリートデュオは長く、欧米各地で常に好評を得ている。CDも数多く、シュタイアー、ゲースとのリート、宗教曲のソリストなど、その録音枚数は130枚を超えている。近年は後進の指導も熱心で、各地のマスタークラスに講師として招かれる他、2005年までスイス国立チューリッヒ音楽学校、2004年からはケルン音楽大学教授として、若手の育成に貢献している。日本でも、1992年「〈東京の夏〉音楽祭」にてモンテヴェルディ「ユリシーズの帰郷」主役、1998年マラー「大地の歌」(室内楽版/共演:白井光子)、2000年白井光子/ハルトムート・ヘルとヴォルフ「イタリア歌曲集」、コープマン指揮ラ・プティットバンドによるバッハ「マタイ受難曲」エヴァンゲリスト、2002年再び「〈東京の夏〉音楽祭」でツェンダー版/オリジナル版による「冬の旅」2夜連続出演に挑むなど、多彩な演奏活動で多くの聴衆を魅了している。その後は、ほぼ2年おきに来日し、トッパンホールで「リートの森」シリーズに出演し、各地でリートリサイタルを開催している。2022年10月にもコロナ後初めての来日を果たし、シューベルトの三大歌曲集を3日にわたり歌い、多くの聴衆を感動させた。

### ミヒャエル・ゲース(ピアノ)

Michael Gees, Piano

1953年ドイツ・ビーレフェルト生まれ。幼少の頃から劇場に足を運ぶなど、恵まれた音楽環境に育ち、早くからピアニストとして活躍をはじめ。1961年にはハンブルクのスタインウェイ・コンクールおよびザルツブルク・モーツァルテウム給費コンペティションで第1位を受賞、その後モーツァルテウム音楽院に学び、若干10歳で故郷でのデビューを果たした。ウィーン音楽アカデミーでM.R.ザイドルホフナー、J.N.ダーヴィットに学んだのち、デトモルト、ハノーヴァーでさらに研鑽を積み、同時にジャズや作曲にも熱心に取り組んだ。また、フランクフルトでは歌劇場のピアニストをつとめ、歌手について幅広い知識、経験を積んだ。1986年にはソリスト、伴奏者、そして作曲家としてシュレスヴィヒ=ホルスタイン音楽祭に参加。その後も、ピアニストとしてはもちろん、作曲家としても、ピアノ曲をはじめ、歌曲、合唱曲、オーケストラ作品、そして劇音楽など、幅広い活動を繰り広げている。ゲースの多彩な経験に基く声楽・器楽双方に対する幅広い知識は、音楽に対する彼の確かな解釈の裏付けともなり、譜面に書かれている音符を実際に音にする時、常に共演者との関わりがより深まるようなアプローチでのぞむ。ソリストとして演奏する場面であっても、生まれながらの室内楽奏者としての特性を生かしていると言える。プレガルディエンとのデュオは長く、今までに、ロンドン・ウィグモアホール、ミラノ・スカラ座、ニューヨーク・カーネギーホールなどで共演している。日本でも、2002年「〈東京の夏〉音楽祭」に参加、シューベルト「冬の旅」で名演を披露し絶賛を博している。2009年にトッパンホールに登場し、以来ほぼ2年おきにプレガルディエンと来日し共演している。2022年10月にもコロナ後初めての来日を果たし、プレガルディエンと共に多くの聴衆を感動させた。

バロックザール  
*Barocksaal*  
京 青山音楽記念館  
都

お問い合わせ  
tel.075-393-0011  
9:30~18:00 月・火休館  
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1  
<https://barocksaal.com/>

